

ノジマ相模原ライズ主将、金子泰徳選手(#32)の特集が掲載されました。

東京中日スポーツ(2014.12.4)

Xリーグノジマ相模原ライズ主将 金子泰徳

社会人アメリカンフットボールのXリーグに、兼業農家の選手がいる。ノジマ相模原ライズの主将でランニングバック(RB)の金子泰徳(25)。今シーズン、プレーオフに相当するファイナルステージ進出は決したが、西地区1位のエスコム埼玉ファイニーズを倒した好チームの中心選手は、毎日、埼玉県川越市内の畑でカブの栽培に取り組み農家の若き後継者だ。(藤本敏和)

◆明治安田バイレツで突進するライズの金子=2013年10月5日、川越球場で(ノジマ相模原ライズ提供)カブを箱詰めする金子(市川和広撮影)→埼玉川越市で

▼金子泰徳(かねこ・やすのり) 1989(平成元)年10月5日、埼玉県川越市生まれの25歳。165センチ×88キロ。背番号32。埼玉・狭山ヶ丘高でアメフトをはじめ、攻守ラインとQBを経験。立大でRBになった。卒業後の2012年にノジマ相模原ライズ入り、今年主将に就任した。農家としての主力生産品はカブで、夏選手トをはじめ、攻守ラインとQBをつくる。

埼玉・川越市でカブ栽培…だが週末は姿が一変

選手は

毎日朝5時起き7時まで働く!!

前母を亡く、兼業用にある牛馬場、手狭なカブを栽培して働くノジマ相模原ライズ主将、金子は農家の若き後継者だ。一流のフットボール選手というよりも、川越市の農家に「アゲアゲ」栽培のヘルメットをかぶり、相手選手を待ち受ける。カブを栽培して、週末は農家の若き後継者だ。一流のフットボール選手というよりも、川越市の農家に「アゲアゲ」栽培のヘルメットをかぶり、相手選手を待ち受ける。

兼業農家

FBにやりがい 泥くさく突進!!

◆ノジマ相模原ライズ、2010年のスタートで、1年目3部優勝、2年目2部優勝と、3年目1部に昇格。昨シーズンは、1部に昇格。昨シーズンは、1部に昇格。昨シーズンは、1部に昇格。

◆ノジマ相模原ライズ、2010年のスタートで、1年目3部優勝、2年目2部優勝と、3年目1部に昇格。昨シーズンは、1部に昇格。昨シーズンは、1部に昇格。

◆ノジマ相模原ライズ、2010年のスタートで、1年目3部優勝、2年目2部優勝と、3年目1部に昇格。昨シーズンは、1部に昇格。昨シーズンは、1部に昇格。

◆ノジマ相模原ライズ、2010年のスタートで、1年目3部優勝、2年目2部優勝と、3年目1部に昇格。昨シーズンは、1部に昇格。昨シーズンは、1部に昇格。